

標準提供書式一覧（一例）



分類	種類	内容	文書数
生損保診断書	生損保診断書	生命保険協会加盟会社 各種診断書・証明書	約1,200書類
	損害保険診断書	損害保険協会加盟会社 各種診断書・証明書	
	全労災、JA 共済、全国生活協同組合連合会、日本コープ共済生活協同組合連合会、警察職員生活協同組合、その他共済関連	各種診断書・証明書	
公的文書	臨床調査個人票	全333疾病(428様式) ※2018年4月1日の法改正に対応	約6,710書類
	小児慢性特定疾病医療意見書	全819疾病(1660様式) ※2018年10月1日からの新様式に対応	
	死亡診断書、出生証明書	死亡届、死産証書、出生届	
	障害者福祉	身体障害者診断書・意見書、自立支援医療(更生医療)意見書、自立支援医療(育成医療)意見書、障害年金診断書、特別児童扶養手当、特別障害者手当、障害児福祉手当、補装具費支給意見書、日常生活用具給付意見書、おむつ使用証明書、ストマ用装具使用証明書など	
	医療費助成	肝炎医療費助成、結核医療公費負担申請書 先天性血液凝固因子欠乏症、特定疾患重症度認定申請書兼診断書など	
	生活保護関連	医療要否意見書など	
	介護保険	主治医意見書	
	乳幼児・児童福祉	養育医療意見書、療育医療意見書	
	感染症関連	感染症発生届	
	健康保険協会関連	傷病手当金支給申請書、出産手当金支給申請書、出産育児一時金支給申請書	
	自賠責診断書	診断書	
	労災関連	診断書など	
	療養費関連	マッサージ・はりきゅう同意書	
	訪問看護関連	訪問看護指示書など	
	公安委員会提出用	各種診断書	
	成年後見制度関連	診断書	
ハローワーク関連	各種証明書		
約7,870書類			

文書作成システム

DocuMaker

FINDEX製品に関する情報については<https://findex.co.jp/>をご覧ください。

- 当製品は診療記録のためのデータ保存を使用目的としているため、医療機器プログラムではありません。
- 本カタログに掲載された仕様、デザイン等は予告なく変更する場合があります。 ●このカタログの内容は、2020年7月現在のものです。

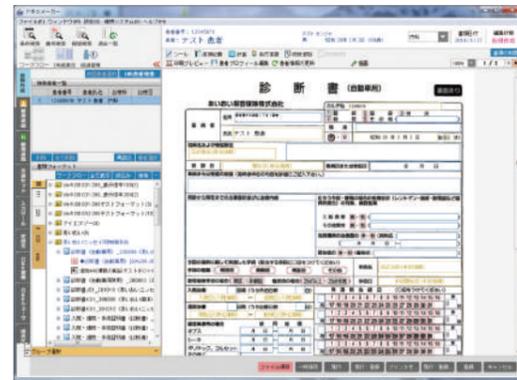
株式会社ファインデックス

本社	〒105-6133 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル33F	TEL:03-5408-3745 FAX:03-5408-3744
四国支社	〒790-0003 愛媛県松山市三番町4-9-6	TEL:089-947-3388 FAX:089-947-1133
大阪支店	〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2-6-18 淀屋橋スクエア11F	TEL:06-6220-1401 FAX:06-6220-1402
福岡支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-12-7 福岡ダイヤモンドビル6F	TEL:092-753-7011 FAX:092-753-7022
札幌支店	〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8 5F	TEL:011-374-7200 FAX:011-374-8373
那覇支店	〒900-0033 沖縄県那覇市久米2-4-16 大樹生命那覇ビル4F	TEL:098-943-1576 FAX:098-943-1577

DocuMaker 文書作成システム

院内の文書を簡単にシステム化。
記載内容はデータベース化し
様々な用途に二次利用可能。

DocuMakerは、専門知識を要することなくユーザー自身が簡単に書式を作成し、システムで記載することのできるシステムです。書類記載時には、過去文書情報や他システムの情報を連携して効率的に記載が行えます。また、記載した内容はデータベースで管理されるので、統計・解析・検索など様々な用途に二次利用することができます。



DocuMakerだから、院内のあらゆる文書をシステム化できる

院内にある紙文書やPDF・Word・Excel文書の記載・管理に困っていませんか？
紙運用にお悩みのケースは少なくありませんが、意外にシステム化したものの困っているというケースも少なくないようです。



DocuMakerならこれらの問題を解決しシステム化することができます！



Point1. 豊富な提供書式&ユーザー作成書式でどんな書類にも対応
ユーザー自身で書式が作成できるので、費用をかけることなく、紙文書やPDF・Word・Excel文書をシステム化することができます。

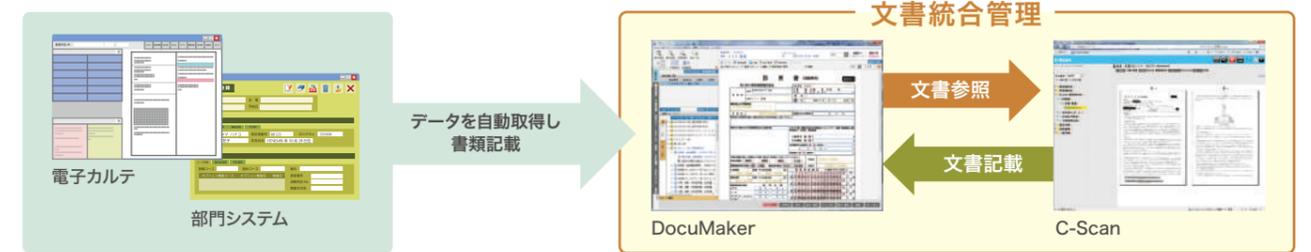
Point2. 1つのシステムで院内の様々な運用にも柔軟に対応
複数の部門システムを導入しなくても、DocuMaker1つで院内のあらゆる文書を記載・管理できるので、導入費用を抑え、管理もシンプルに行えます。

Point3. 記載内容をデータベース管理し、様々な用途に二次利用
診療科や文書の垣根を越えて、記載やその他の二次的用途（統計・解析・検索）にデータを活用できます。

Point4. HISや部門システムのデータを自動取得して簡単に書類記載
他システムとの連携により、二重入力を行うことなくスムーズに書類記載が行えます。

外部システム連携により効率的に文書記載・管理

電子カルテや部門システムのデータを自動取得して効率的に文書記載が行える他、C-Scan との連携により文書記載から参照までを統合して管理することができます。

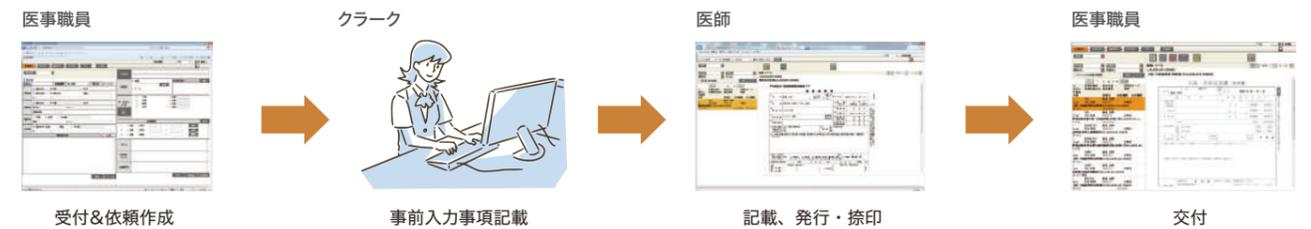


ワークフローや経過記録機能で院内の様々な運用にも対応

診断書記載や、NST(栄養サポートチーム)・ICT(感染症予防対策)・RST(呼吸器サポートチーム)・褥瘡管理などのチーム医療にも柔軟に対応します。

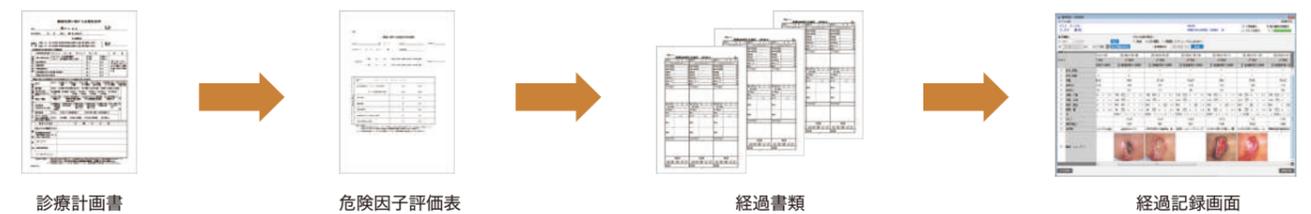
診断書記載ワークフロー

紙の搬送を行うことなく診断書を記載し、進捗はシステムで漏れなく管理します。



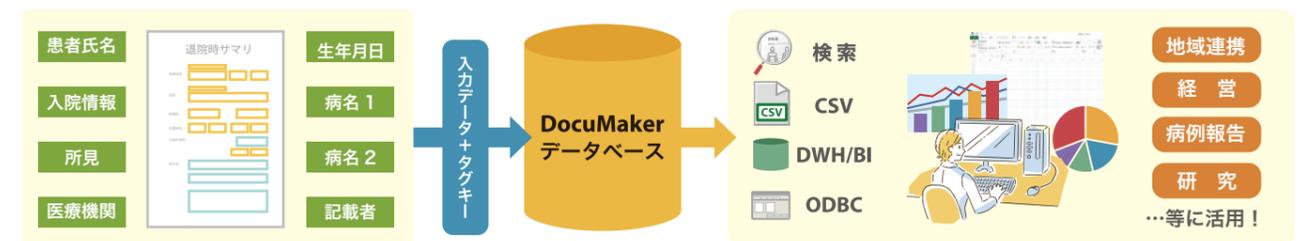
褥瘡管理

様々な書類を一括管理できるだけでなく、単票形式で記載した書類を経時的に参照することができます。



記載内容はデータベースで管理し、統計・解析・検索に二次利用

文書中の項目は、その1つ1つにタグ情報が付与されデータベースで管理されます。データは任意の条件で検索し、CSV出力により自由に利用することができる他、ODBC接続によるデータ解析が行えます。



クラウド版を利用したデータの集約・管理

ブラウザでの記載が可能なWEB版を利用すれば、遠隔地にある関連施設のデータを集約し管理することができます。自施設内だけにとどまることなくデータを統合管理することで、更に高度なデータ活用が可能になります。